

九州横断自動車道延岡線(矢部^{やべ}～蘇陽^{そよう})
参考資料

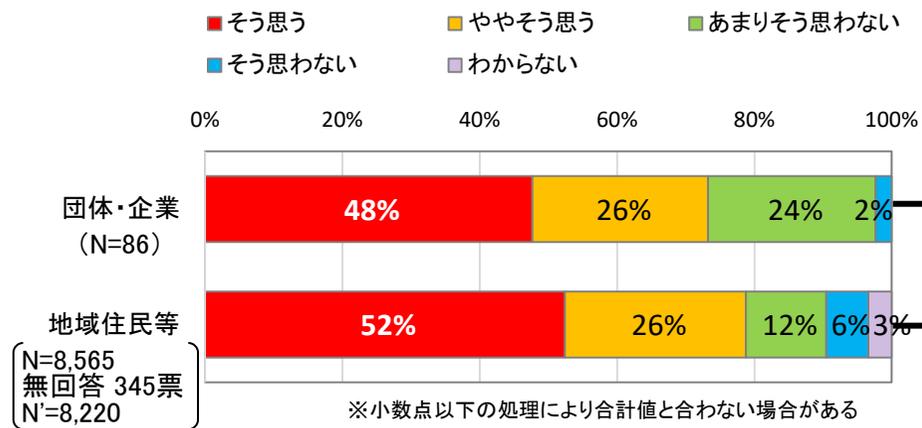
令和3年9月13日

国土交通省 九州地方整備局

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:「暮らし」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果<急カーブが多く、安全性に不安を感じる>

- いずれの意見聴取方法においても、7割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、カーブが多く走行しづらいこと、事故が多く、対向車との離合が難しいといった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、急カーブが多いことによる事故の多発が問題視されている。



<団体・企業>

- 急カーブが多くスピードが出せない。勾配があり揺れが多く走行が不安定。(団体)
- カーブが多く幅員が狭い。道路の線形不良箇所が多く勾配もある。(建設業)
- カーブで車が揺れるので利用者さんに負担になる。(福祉)
- 高齢者が多い地域なので、道路には安全性を求める。(医療)
- 山間部なのでカーブが多いのは仕方ないが勾配きついのは走っていて不便。(建設業)
- 旧道を知っているのだからかなりカーブがとれて走りやすくなった。(建設業)

<地域住民等>

- 安全運転に気を付けているが、カーブが多く相手がカーブを曲がりきれずにぶつかりそうになったことがある。
- カーブが多く、凍結時が問題だと思う。
- 大型車同士の離合が難しい。急カーブがたくさんある。
- カーブが多いから対向車に気付くのが遅れる。速度を落として走行。
- 時間的に長く感じる。子供の通学、送迎に不便であった。
- めったに利用しないが、カーブの多さは十分感じます。その上で安全やほかの面で悪影響があると思います。
- 運転スピードなども関係するが、カーブでの事故を数回見た。
- 矢部、蘇陽間は2~3か所のカーブを直せばよい。
- 急カーブが多いとは思わない。制限速度であれば不安を感じない。

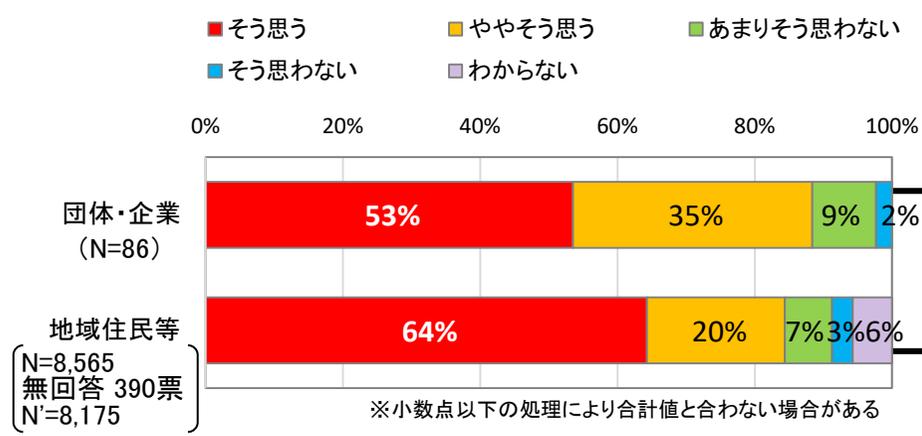
<自治体意見>

- ・地域の生活道路として利用されているが、線形不良箇所が多く存在し、**通行に支障を来している状況**。走行性・安全性の確保が課題である。(熊本県)
- ・急カーブが多いため、**大型車等との離合時に危険**を感じることもある。事故件数割合も県内国道に比べて高いが山都町の**東西を結ぶ唯一の国道であるため安全性の確保が不可欠**である。(山都町)
- ・縦断勾配が急な区間の急なカーブでは、車線を越えての**事故が多数発生**。(五ヶ瀬町)
- ・急カーブを曲がり切れず正面衝突をしたり、車両単独事故を起こしたところを見るのが多く、**いつ事故に巻き込まれるか安全性に不安**を感じる。(高千穂町)

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:「医療」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果<救急搬送時の患者への負担が大きい>

- いずれの意見聴取でも8割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、救急指定病院まで時間を要する事、患者への身体的負担が大きいという意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、第3次救急医療施設への搬送が1時間を超えており速達性の確保、急カーブ・急勾配による患者への負担が問題視されている。



<団体・企業>

- 患者さんを治療しながら病院へ運ぶことができる。馬見原まで高速ができることで病院への到着が早くなる。(団体)
- 熊本市内の病院まで60分以上かかり、患者さんには負担になっている。重症患者の場合、ドクターヘリを使用。(団体)
- 本病院に救急はないが、高速道路ができることで地域医療が良くなると思う。(医療・福祉)
- 病院が隣接しているので不便は感じていない。(医療・福祉)

<地域住民等の意見>

- 市内の救急指定病院まで一時間以上かかる。
- カーブが多く温和な搬送が出来ず、症状を悪化させやすい。
- 救急搬送時、急カーブが多く、上り下りの坂道等、走行性や安全性に欠ける。早期完成を望みます。経験者として患者の身体的負担は大きいと感じました。
- 救急搬送されましたが、カーブやでこぼこが多いのか、揺れが激しく症状が悪化した。
- 救急車がスピードを出せない箇所が多々ある。
- 熊本市への患者搬送など患者は時間が長くなるので不安である。また家族同伴の際は同伴者の車酔いで大変である。
- 患者には負担になるだろうけど、運転者も大変気を使う。
- 蘇陽に総合病院があるため。
- 自宅から30分くらいでつくので、負担とは思わない。

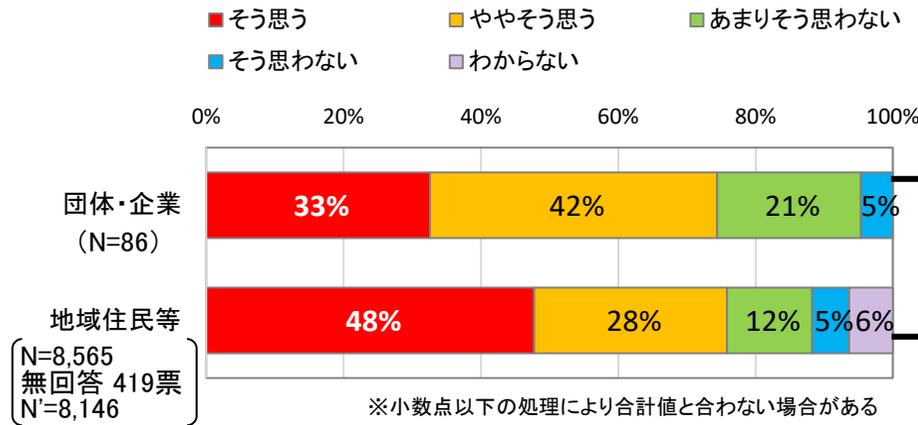
<自治体意見>

- ・熊本市内の第3次救急医療施設へ搬送されているが、**1時間を超える長時間の搬送や搬送時の揺れが患者の負担**となっている状況。**救急医療施設への速達性・走行性の確保**が課題。(熊本県)
- ・国道218号線は**急カーブ・急勾配が多数存在し、救急搬送する患者の症状によっては大きな迂回が必要となることもあり迅速な治療を受ける必要がある場合に負担**となる。宮崎県側の救急搬送も熊本市内の救急病院へ搬送されることも非常に多くあり**時間短縮できる道路の整備が必要**である。(山都町)
- ・平面、縦断ともに線形が悪いため、**搬送時の患者への負担が大きく、また、搬送にも時間を要している**。(五ヶ瀬町)

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:「産業」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果<急カーブが多く産業活動に影響を与えている>

- いずれの意見聴取でも7割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、大型トラックの離合の事、輸送コストや時間を要することについての意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、当該地域は農業・林業の盛んであるが、品質確保や輸送コストがかかることが問題視されている。



<団体・企業>

- カーブが多いので荷積みしたトラックのスピードが出せず出荷に時間がかかっている。高速が完成して時間が短縮されれば、早朝から出荷の準備をしないで済み、職員の拘束時間が減る。日帰りで行ける範囲も増え営業圏も広がる。(団体等)
- 目的地までの到着が早くなれば、利益が上がると思う。(団体等)
- 林業の方は思うけどスピード出せないの良かな。(宿泊、飲食業)
- 運送屋のルート次第なので218を利用しているかわからない。(卸、小売業)

<地域住民等>

- 大型トラック同士の交差が見ていて危険である。
- 農産物輸送の際、荷痛みする時がある。
- 道幅も狭いため、大型車が通る時は危険で歩道を歩いても油断できません。
- ブランド高千穂牛輸送時、牛にストレスを与えてしまう。
- 高低差も激しく、輸送コストがかさむため。
- カーブが多く、道もせまい。時間がかかるので産業活動にロスが出る。
- 道が良いと物流の効果、効率が上がると思う。
- 物流そのものに影響(直接的なもの)はないように思う。
- 影響を与えるほどの状態の悪さではないと思う。
- 急カーブが多いとは思いません。
- あまり関係ないと思う。

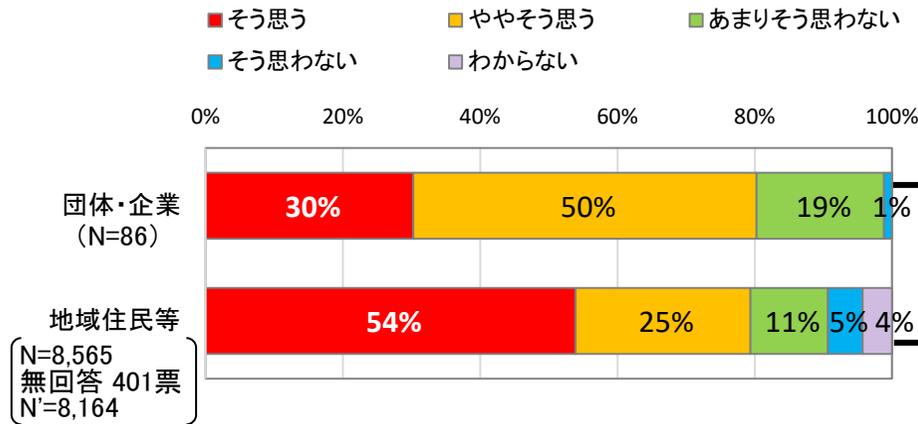
<自治体意見>

- ・品質確保や販路拡大、輸送コストの縮減を図るためには、**走行性・速達性の高い幹線道路の整備**が課題。(熊本県)
- ・荷痛みによる**品質低下**や**荷崩れ及び転倒**につながる恐れがある。(宮崎県)
- ・山都町では農産物のブランド化と**販路拡大に取り組んでおり消費者への距離を縮めるためにも迅速な輸送が不可欠**である。(山都町)
- ・大型車の速度が遅くなり、追越車線や待避所等も少ないため、普通車もそれに伴い遅くなることで、**人・物の移動に時間を要する**。(五ヶ瀬町)
- ・九州横断自動車道が整備されることによって、**時間短縮だけでなく燃費のコストダウンも見込まれる**。(高千穂町)

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:「観光」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果<観光地へのアクセス性や周遊性が悪い>

- 団体・企業ヒアリングでは8割、地域住民等への意見聴取では7割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、移動時間がかかる事、高速道路が整備されることでの期待についての意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、観光地まで時間を要することから観光客の周遊性・アクセス性の向上が問題視されている。



<団体・企業>

- 観光客がどのルートを通って来るのか次第だが、国道218号を通るのは時間がかかるので周遊性はよくないと思う。(団体等)
- キャンプ場を拠点にして阿蘇や高千穂に行くお客様が多く、高速道路ができれば移動がスムーズになると期待している。(その他)
- 県外からの道に不慣れなお客様が走行するには道路形状はよくない。(宿泊、飲食業)
- 良くなりすぎると旅館業には不利。(宿泊、飲食業)

<地域住民等>

- 時間がかかり通ろうとは思わない。行こうと思わない。
- 観光地はたくさんあるので、友人を誘いたいのが、アクセスが悪いので誘いにくい。
- カーブあるいは路面が悪いので大型バスの乗り心地が悪い。
- 熊本市からも延岡市からも1時間以上かかるため客が少ない。
- 観光地へスムーズに行けるようになると、観光の活性化ができる。
- 熊本-高千穂間のアクセスは悪いと思う。
- 市内からもう少し時間短縮できればと思う。
- 観光地間の移動に時間がかかる。
- 観光地は不便でもそれなりに面白い。
- 走りやすくなれば素通りも多くなるのでは。
- 文楽邑や幣立神社を通り過ぎてしまう不安があるので。
- そもそも矢部～蘇陽間にまともな観光地はない。

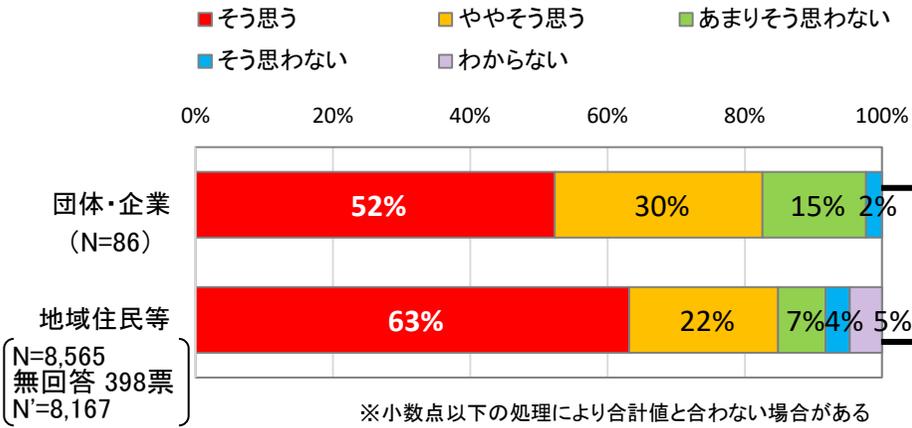
<自治体意見>

- ・通潤橋や阿蘇山・高千穂峡など全国有数の観光地を有しているが、移動に多くの時間を要しており、**観光地までの速達性・定時性の確保が課題**である。(熊本県)
- ・観光地としてポテンシャルが高い高千穂エリア等隣接地域間の**回遊性が低い状況**。(宮崎県)
- ・通潤橋や清和文楽といった魅力ある観光資源が存在する本町への**アクセス性がよくなることにより近隣の観光地への周遊性も高くなる**と考える。(山都町)
- ・**移動に時間を要する**ため、多くの観光客が訪れる阿蘇や高千穂からの観光客の取り組みに苦慮している。(五ヶ瀬町)
- ・阿蘇くじゅう広域観光圏からの誘客を図り、隣接地域間の**周遊性を高めるためにも高速道路が必要**と感じる。(高千穂町)

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:「防災」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果<災害発生時の道路利用に不安を感じる>

- いずれの意見聴取方法においても、8割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、災害発生時の迂回路が無いことによる不安についての意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、国道218号は脆弱であり迂回路もなく、災害時に通行できないのではないかと問題視されている。



- ### <団体・企業>
- 台風などの災害で土砂崩れ、通行止めが発生。冬場に凍結する。(建設業)
 - 災害発生時に道路封鎖されると迂回ルートが無い。(団体等)
 - 熊本地震の時に搬入ができなくて困ったので、高速道路があってほしい。(卸、小売業)
 - 大きな迂回路がないだけで特段困ってはない。(宿泊、飲食業)

- ### <自治体意見>
- ・現道は脆弱かつ、代替路が無い状況であるため、**災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保が課題**である。(熊本県)
 - ・今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震等の大規模災害時に、九州東進作戦の重要な九州の横軸となる**国道218号が脆弱**である。(宮崎県)
 - ・熊本市方面から南阿蘇地域への迂回道路として国道218号線が多く利用されたことから、**物資輸送のための大型輸送車が頻繁に通行し急カーブでの交通事故への不安も高まることになった**。(山都町)
 - ・熊本地震の発生時には、各地で道路が寸断され改めて高速道路の必要性を感じた。南海トラフ地震の発生も危惧されており、**防災という観点からも高速道路が必要**である。(高千穂町)

- ### <地域住民等>
- 急斜面に接している区間もあるので災害時は不安。
 - 災害時、通行止めを何回も経験した。不安が大きい。
 - 熊本地震を経験し、迂回路の必要性を改めて感じました。
 - 土砂崩れが発生する恐れがあり危険。大雨の日に土砂崩れ直後に遭遇し、暗い道をひたすら迂回させられた。
 - 現218号がふさがっても通行できるルートが必要。
 - 落石が起きそうな箇所が多いと思う。
 - 218号線が通れなくなった場合、移動ができなくなりそう。
 - 通行不可となった場合に代替ルートが確保できるか疑問。
 - 道幅も広いので不安は感じません。
 - 218以外にも道はたくさんあるため。
 - 実際に体験していないのでわからない。

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【熊本県】

国道218号矢部～蘇陽の課題について		意見（熊本県）
①暮らし	急カーブが多く、安全性に不安を感じる	・対象区間の沿線は、支所や学校、病院などが集まっており、地域の生活道路として利用されているが、線形不良箇所が多く存在し、通行に支障を来している状況。このため、 走行性・安全性の確保 が課題である。
②医療	救急搬送時の患者への負担が大きい	・山都町の救急患者は、熊本市内の第3次救急医療施設へ搬送されているが、1時間を超える長時間の搬送や搬送時の揺れが患者の負担となっている状況。このため、 救急医療施設への速達性・走行性の確保 が課題。（なお、五ヶ瀬町・高千穂町においても、救急患者の一部は熊本方面へ搬送されている。）
③産業	急カーブが多く産業活動に影響を与えている	・山都町からの農産物の輸送は、主に国道218号を利用され出荷されているが、今回対象区間には、線形不良箇所が多く存在し、輸送時の品質確保や販路拡大、輸送コストの縮減を図るためには、 走行性・速達性の高い幹線道路の整備 が課題である。
④観光	観光地へのアクセス性や周遊性が悪い	・山都町やその周辺の阿蘇・高千穂地域では、通潤橋や阿蘇山・高千穂峡など全国有数の観光地を有しているが、移動に多くの時間を要している状況。このため、 観光地までの速達性・定時制の確保 が課題である。
⑤防災	災害発生時の道路利用に不安を感じる	・H28熊本地震の際には、九州横断自動車道延岡線に並行する国道445号や国道218号が通行止めとなり、救援活動や支援物資の輸送に支障を来した。対象区間においても、現道は脆弱かつ、代替路がない状況であるため、 災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保 が課題である。
その他意見、要望		・現道の国道218号は、脆弱かつ代替路がない状況にあるため、現時点で熊本県で策定している広域防災拠点構想の取り組みを十分発揮できていない状況。早期の全線整備が課題である。 ・九州が一体的に発展するためには、九州縦貫自動車道と東九州自動車道を横軸で結ぶ本路線の整備が不可欠です。熊本県では、平成26年1月に、九州の安全・安心を支える広域防災拠点構想を策定し、防災拠点の充実強化や幹線道路ネットワークの整備促進に取り組んでいます。九州横断自動車道延岡線は、南海トラフ地震を見据えたとき、宮崎県を支援する「 命の道 」となり、広域防災拠点としての本県の役割を十分に発揮するためには本路線の早期整備が喫緊の課題となっています。また、本路線の整備は、新しい人の流れや経済の流れを生み出し、 観光振興、地域産業の支援につながる「経済の道 」として、また 沿道地域の地域活性化につながる「地域創生の道 」として期待されております。ついては、本区間の計画段階評価を早期に完了し、事業化していただきたく、お願いいたします。なお、本県としても事業化に向けて様々な調査等に協力していく考えです。

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【宮崎県】

国道218号矢部～蘇陽の課題について		意見(宮崎県)
①暮らし	急カーブが多く、安全性に不安を感じる	・平面線形及び横断線形の不良箇所が多数存在し、そこで 事故が多数発生 している。
②医療	救急搬送時の患者への負担が大きい	・平面線形及び縦断線形の不良箇所が多数存在していることは、 患者への負担 につながる。
③産業	急カーブが多く産業活動に影響を与えている	・平面線形及び縦断線形の不良箇所が多数存在していることは、 荷痛みによる品質低下や荷崩れ及び転倒 につながる恐れがある。
④観光	観光地へのアクセス性や周遊性が悪い	・九州横断自動車道延岡線が全線開通していないため、整備が進む東九州自動車道等とのアクセスや、観光地としてポテンシャルが高い 高千穂エリア等隣接地域間の回遊性が低い 状況。
⑤防災	災害発生時の道路利用に不安を感じる	・今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震等の大規模災害時に、九州東進作戦の重要な九州の横軸となる 国道218号が脆弱 である。
その他意見、要望		<p>・九州横断自動車道延岡線は、九州の東西軸として宮崎・熊本両県を結ぶ大変重要な道路であり、九州におけるミッシングリンクを解消することにより九州の一体的浮揚を図るために必要不可欠な道路である。</p> <p>・今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震等の大規模災害時に、人命救助や救援物資の輸送等を円滑かつ迅速に行うための「命の道」として必要不可欠な道路であり、宮崎県側も含めた早期全線開通が必要である。</p>

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【山都町】

国道218号矢部～蘇陽の課題について		意見(山都町)
①暮らし	急カーブが多く、安全性に不安を感じる	・急カーブが多いため、大型車等との離合時に危険を感じることもある。事故件数割合(正面衝突・車両単独)も県内国道に比べて高いが山都町の東西を結ぶ唯一の国道であるため 安全性の確保 が不可欠である。
②医療	救急搬送時の患者への負担が大きい	・国道218号線は急カーブ・急勾配が多数存在し、救急搬送する患者の症状によっては大きな迂回が必要となることもあり迅速な治療をうける必要がある場合に負担となる。また宮崎県側の救急搬送も熊本市内の救急病院へ搬送されることも非常に多くあり 時間短縮できる道路の整備 が必要である。
③産業	急カーブが多く産業活動に影響を与えている	・山都町の基幹産業である農産物や木材の運搬については運送業者が細心の注意を図りながら行っておられる。山都町では農産物のブランド化と販路拡大に取り組んでおり消費者への距離を縮めるためにも 迅速な輸送 が不可欠である。
④観光	観光地へのアクセス性や周遊性が悪い	・九州のほぼ中央に位置し阿蘇や高千穂といった観光地へもアクセスしやすい場所であるため近隣自治体と連携し協議会等を設置しているが、道路状況が悪いため他ルートを選択する観光客もある。通潤橋や清和文楽といった魅力ある観光資源が存在する本町へのアクセス性がよくなることにより 近隣の観光地への周遊性も高くなる と考える。
⑤防災	災害発生時の道路利用に不安を感じる	・平成28年の熊本地震の際には国道445号線の通行止めや阿蘇大橋の崩落により熊本市方面から南阿蘇地域への迂回道路として国道218号線が多く利用された。物資輸送のための大型輸送車が頻繁に通行し急カーブでの交通事故への不安も高まることとなった。
	その他意見、要望	<p>・本町には、鉄道がないため、自動車への依存度が極めて高いにも関わらず、台風や集中豪雨等による土砂災害により、これまで何度も法面崩壊等による道路の全面通行止めが発生し、観光客だけでなく、地元住民の通勤や通院などに支障をきたしており、災害時や緊急搬送などにも不安を抱えている状況です。特に、平成28年の熊本地震及び豪雨災害では甚大な被害が発生し復旧・復興に向けて進んでいるところです。熊本県が策定した「九州を支える広域防災拠点構想」や国の「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」を踏まえると、大規模災害時に九州の中心に位置する熊本が広域防災拠点としての役割を担うことになると思われます。</p> <p>救援物資や医療関係者を迅速に輸送するため、また平常時の救急医療施設等への搬送時間短縮による救急医療への支援として矢部～蘇陽間の整備については急務であると考えております。現在でも、蘇陽地区から熊本市圏の救急救命施設への搬送は70分以上を要し、救急患者を搬送する国道218号線は急カーブと急勾配の連続であり患者への負担が大きい状況にあり搬送と時間短縮は沿線住民にとって重要な課題と考えます。</p> <p>このような中、山都中島西ICまでが整備され、平成31年のゴールデンウィークには「道の駅清和文楽邑」の来客数が前年比の1.5倍となり、熊本近郊へも通勤時間の短縮が実現し、若者が地元である山都町に就職後も住み続ける事例もあり観光振興や定住化への高速道路がもたらす効果を感じております。また、多数の宮崎ナンバーの車が山都中島西ICを利用されているのを見掛け、熊本空港・熊本市内の病院・熊本市内での買い物等に出かけられているものと思われ地域間交流の流れも感じております。 8</p>

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【五ヶ瀬町】

国道218号矢部～蘇陽の課題について		意見(五ヶ瀬町)
①暮らし	急カーブが多く、安全性に不安を感じる	・縦断勾配が急な区間の急なカーブでは、車線を越えての 事故が多数発生 。
②医療	救急搬送時の患者への負担が大きい	・平面、縦断ともに線形が悪いため、 搬送時の患者への負担が大きく、また、搬送にも時間を要している 。
③産業	急カーブが多く産業活動に影響を与えている	・大型車の速度が遅くなり、追越車線や待避所等も少ないため、普通車もそれに伴い遅くなることで、 人・物の移動に時間を要する 。
④観光	観光地へのアクセス性や周遊性が悪い	・ 移動に時間を要する ため、多くの観光客が訪れる阿蘇や高千穂からの観光客の取り組みに苦慮している。
⑤防災	災害発生時の道路利用に不安を感じる	・大雨や地震時には、多数の落石等が発生しており、また、道路沿いには、急勾配法面も多くあることから、 土砂崩れや谷からの土石流の発生も懸念 。 ・冬季には、積雪や凍結により通行規制され、緊急搬送や交通機関や物流に支障がでている。また、もしも、冬季に大地震が発生した際には、 支援活動にも支障をきたす可能性 。
その他意見、要望		・九州中央自動車道は、熊本と延岡を結ぶ重要な路線であり、全線開通により、人・物ともに大きく流れが変わると期待している。その中間地点となる五ヶ瀬町は、熊本も延岡もともに1時間圏域となるなど、物流等の拠点にもなり得る条件であることから、特に、その恩恵は大きいものであり、今後のまちづくりに大きな影響を及ぼす。 ・五ヶ瀬町民の多くが、病院、買い物などで熊本方面に向かっており、矢部～蘇陽間の開通は利便性が大きく向上するもので、若者の町外流出にも歯止めをかけられると考える。また、移住者の増加にも寄与するものとする。

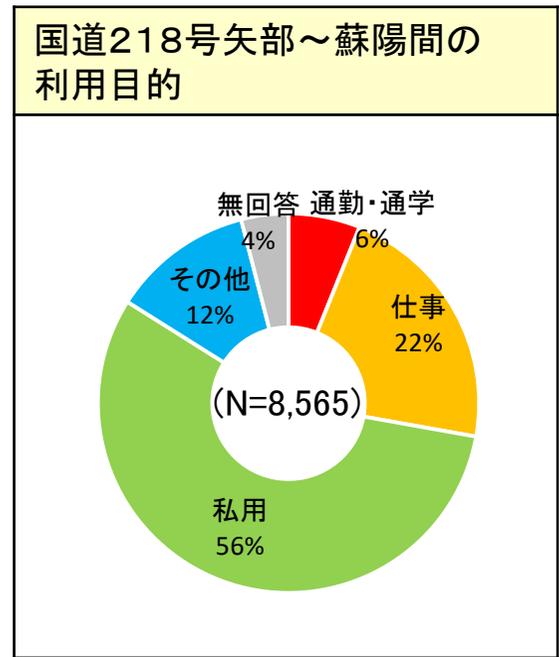
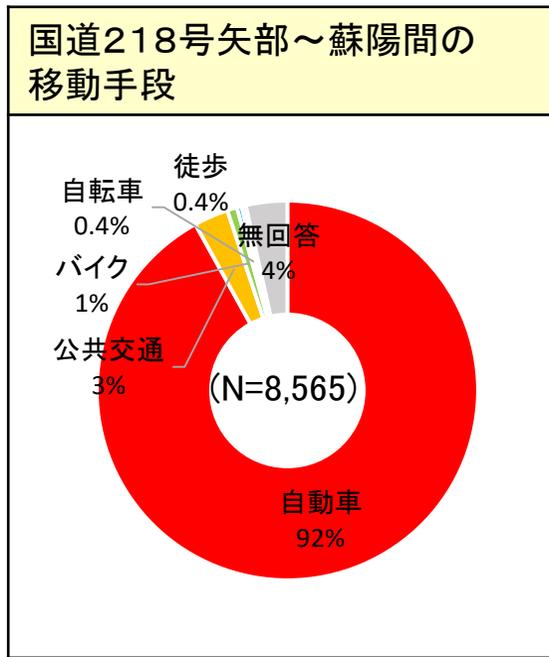
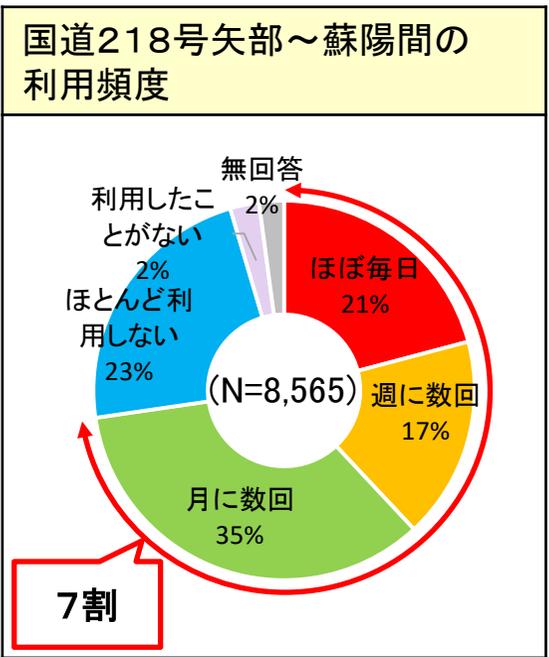
自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【高千穂町】

国道218号矢部～蘇陽の課題について		意見(高千穂町)
①暮らし	急カーブが多く、安全性に不安を感じる	・急カーブを曲がり切れず正面衝突をしたり、車両単独事故を起こしたところを見る事が多く、いつ事故に巻き込まれるか 安全性に不安 を感じる。
②医療	救急搬送時の患者への負担が大きい	・急カーブが多く、スピードが出せないため、熊本市内の病院への転送に時間がかかり 患者への負担が大きい 。
③産業	急カーブが多く産業活動に影響を与えている	・急カーブが多く、また、アップダウンも大きい ため燃費が悪くなる 。九州横断自動車道が整備されることによって、 時間短縮 だけでなく燃費のコストダウンも見込まれる。
④観光	観光地へのアクセス性や周遊性が悪い	・阿蘇くじゅう広域観光圏からの誘客を図り、 隣接地域間の周遊性を高めるため にも高速道路が必要と感じる。
⑤防災	災害発生時の道路利用に不安を感じる	・熊本地震の発生時には、各地で道路が寸断され、改めて高速道路の必要性を感じた。南海トラフ地震の発生も危惧されており、 防災という観点からも高速道路が必要 である。
その他意見、要望		

第1回意見聴取の結果(参考:【回答者属性】)

- 回答者の7割以上の方が対象区間を利用している。
- 利用交通手段の9割以上が自動車を利用している。
- 利用目的は、私用の割合が最も高く5割を超えており、次いで、仕事が約2割となっている。



※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある